

《企業紹介》

同社はベトナムの商業銀行大手の一角を占める総合金融サービス企業である。人民解放軍傘下の企業に対する金融サービス提供を目的に1994年に設立された金融機関が前身である。この経緯から国防省関連企業との関係が深く、筆頭株主は国防省傘下のViettel（ベトテル、ベトナム最大の移動体通信事業者、保有比率は2022年12月29日時点で18.5%）となっている。Viettelとは資本関係を通してフィンテックなどの新しい金融サービスでの協業を積極的に進める方針である。

同社はグループ内に6つの専門的な金融サービス子会社を持ち、グループの総合金融サービスの競争力強化を図っている。MBアセットマネジメントは債権管理業務を通してグループ債権の厳格な管理に貢献し、不良債権比率の抑制に貢献している。このほかMBキャピタルマネジメントは資産運用業務を、MB証券は証券業を、MICは損害保険事業を、MBエイジライフは生命保険業を、MB新生ファイナンスは消費者金融業を、それぞれの市場で存在感を示しながらサービスを展開している。

《2025年1-3月期業績》

2025年1-3月期の営業収入は前年同期比27.5%増の15.3兆VND（ベトナムドン）だった。金利収入は、貸出債権残高が同32.2%増の797.5兆VNDとなったことに加え、預貸利ザヤの縮小が限定的だったため、同29.0%増の11.6兆VNDとなった。手数料収入は同30.7%増の1.2兆VND、その他収入は同19.2%増の2.3兆VNDだった。

税引前利益は同44.7%増の8.3兆VND、税引後利益は同44.9%増の6.5兆VNDとなった。営業費用が同12.4%増の3.9兆VND、貸倒引当金が同10.3%増の2.9兆VNDと、いずれも営業収入の増加を大きく下回る増加に抑制されたため、利益水準が大きく上昇している。

貸出債権の大幅な増加が続いているが、貸倒比率は同0.3%ポイント低下の1.5%となった。安全性を確保しつつ、貸出債権の増加を達成している。安全性の高い貸出債権の増加と預貸利ザヤの改善に牽引され、金利収入を中心とした営業収入の拡大が見込める状況にあるといえよう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年1-3月期		2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	12,016.7	0.7	14,129.2	22.2	12,703.8	5.3	16,563.5	41.0	15,322.7	27.5
(うち金利収入)	9,062.3	-11.4	10,531.1	11.1	10,416.6	6.2	11,142.2	21.6	11,692.2	29.0
(うち手数料等収入)	945.2	37.1	1,354.3	57.3	888.0	-17.7	1,180.8	-18.9	1,235.4	30.7
(その他収入)	2,009.2	98.4	2,243.9	84.1	1,399.1	19.2	4,240.6	274.9	2,395.1	19.2
営業費用	3,514.3	-1.5	4,490.5	8.6	3,755.9	12.7	5,246.6	35.4	3,950.0	12.4
貸倒引当金	2,707.1	46.4	2,005.7	66.8	1,640.0	13.3	3,223.8	103.1	2,986.4	10.3
税引前利益	5,795.3	-11.0	7,633.0	22.7	7,307.9	0.3	8,093.1	28.7	8,386.3	44.7
税引後利益	4,532.7	-9.8	6,026.7	23.2	5,790.2	0.3	6,284.2	26.0	6,567.7	44.9
貸出債権(期末残高)	603,072.4	28.4	662,584.5	30.8	702,019.5	34.0	776,657.8	29.5	797,536.7	32.2
貸倒比率(%、%ポイント)	1.8	0.2	1.2	0.3	0.9	-0.2	1.7	0.6	1.5	-0.3

注1 収入は全て費用を差し引いた純額で表示している

注2 営業収入は公表されている金利収支、外国為替収支、証券関連収支、その他収支の純額合計

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250513

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

軍隊銀行(MBB)



《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2024年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価パフォーマンスは年初から一貫してVN指数を上回って推移している。5月12日終値時点でVN指数が2024年末比1%の上昇となっているのに対し、同社の株価は9%の上昇となっている。また、5月12日終値23,800VNDで計算した時価総額は145.2兆VNDであり、2024年12月期実績の税引後利益22.6兆VNDに対して6.4倍となっている。

政策金利引き下げのもたらしたマイナス影響が一巡し、預貸利ザヤの改善と貸出債権の増加が両輪となって業績を押し上げる局面への移行が期待されていたが、米国の関税政策がもたらすベトナム経済への影響がその期待を後退させる可能性がある。ベトナム政府は景気に対する配慮から、貸出金利の引き下げを求める可能性があるためだ。しかし、ベトナム経済の悪化はリスク要因ではあるものの、預貸利ザヤの一段の大幅な悪化は考えにくく、貸出債権の増加程度に合わせた利益水準の上昇は期待できるだろう。

図表2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250513

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したのですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよく読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。